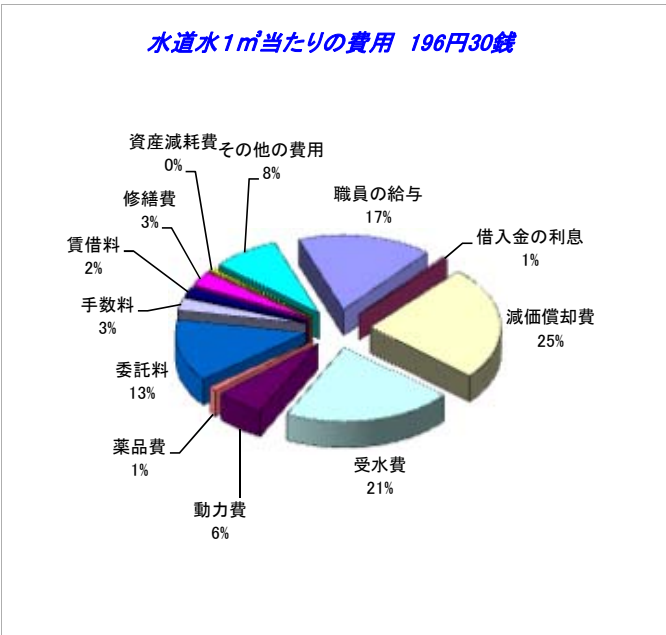


令和3年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。
町議会において、令和3年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	32.77
借入金の利息	1.06
減価償却費	48.21
受水費	41.25
動力費	12
薬品費	2.03
委託料	26.35
手数料	5.32
賃借料	3.56
修繕費	6.36
資産減耗費	1.04
その他の費用	16.33
計	196.3

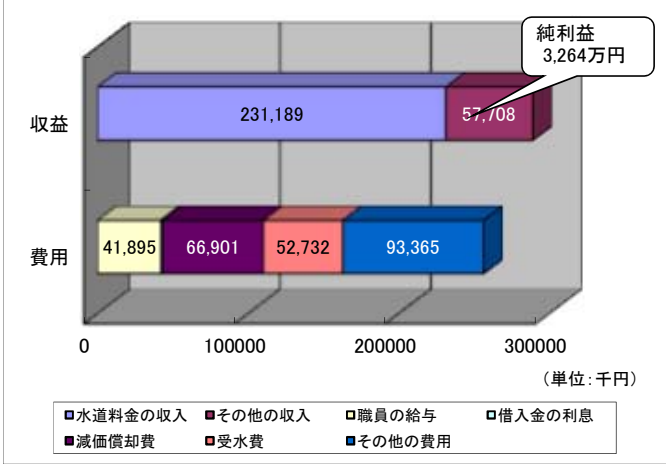


収益的収支……水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

※令和2年度決算においては、3,264万6千円の純利益となり、利益剰余金4,072万5千円となりました。

(単位:円)

収益(収入)	水道料金の収入	231,189,335
	その他の収入	57,707,752
費用(支出)	職員の給与	41,895,433
	借入金の利息	1,357,205
	減価償却費	66,901,067
	受水費	52,731,571
	その他の費用	93,365,246
	純利益	32,646,565



※受水費…埼玉県企業局からの県水購入費
 ※減価償却費…水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

(単位:円)

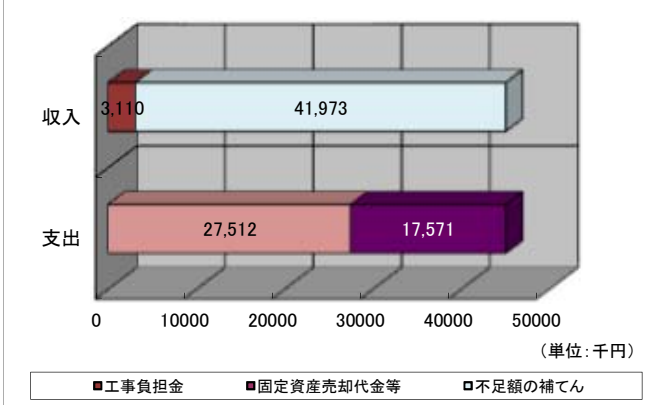
収入	288,897,087
支出	256,250,522
純利益	32,646,565

資本的収支……浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)

収入	企業債	0
	工事負担金	3,110,290
	不足額の補てん	41,972,660
	固定資産売却代金等	0
支出	建設改良費	27,511,537
	企業債償還金	17,571,413
	有価証券購入費	0



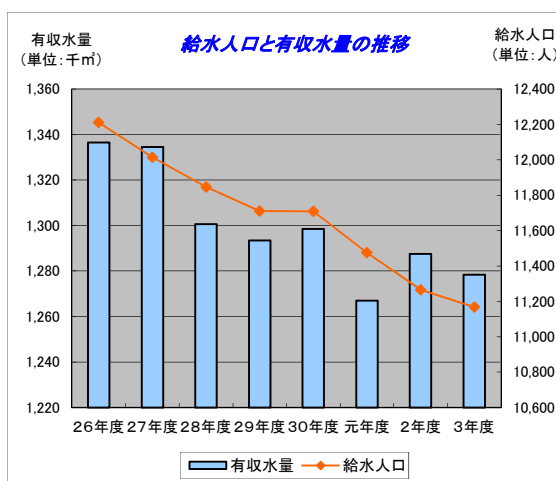
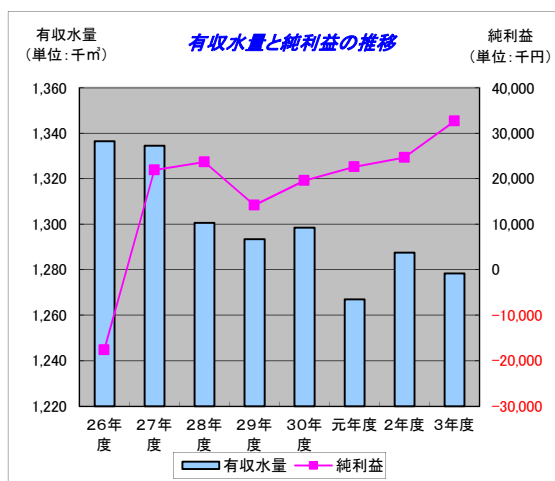
令和3年度に行なった主な建設改良事業

(単位:円)	
越生字河原地内配水管布設替工事	3,146,000
上野字唐沢地内舗装本復旧工事	3,063,500
上野地内配水管布設替工事	2,251,700
津久根地内石綿管更新に伴う配水管・給水管布設替(7ブロック)工事	1,823,800
如意地内舗装本復旧工事	1,782,000
上台地内配水管布設替工事	1,460,800
上谷字大畑地内配水管布設替工事	1,218,800
上台地内給水管布設替工事	335,500

有収水量と純利益・給水人口と有収水量の推移

下記のグラフは、過去8年間の有収水量(使用水量のうち料金収入の対象となった水量)と、純利益(収益的収支の収入と支出の差額)及び給水人口の推移を示しています。

水道料金が収入の9割以上を占めているため、有収水量の増減が純利益に与える影響が大きい状況にあります。
 有収水量(水需要)は、近年の節水意識の向上並びに人口の減少などから年々低下しており、令和2年度は微増したが令和3年度はまた、減少となっております。今後も減少することが予想されます。
 一方、純利益は、平成22年度まで黒字決算となっておりますが、平成23年度から赤字に転じ減価償却費が増大する反面、給水収益の減少に伴い平成26年度まで赤字となっております。このような状況のなか、赤字解消を主な目的とし平成27年4月より料金改定を行い、平成27年度決算から黒字に転じ、令和3年度現在まで黒字となっております。
 水道事業は、安全な水を安定して供給するために、老朽化が進む施設の更新整備が不可欠であり、これに必要な額の純利益が将来にわたって確保されなければなりません。これからも引き続き経営改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



令和3年度 越生町水道事業 貸借対照表・損益計算書

《貸借対照表》

貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

(単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	1,378,389,600	固定負債	37,711,965
有形固定資産	1,369,349,600	企業債	37,711,965
無形固定資産	9,040,000	流動負債	43,898,960
投資	0	企業債	6,745,389
流動資産	395,189,561	引当金	4,948,000
現金預金	377,847,226	未払金	32,040,671
未収金	12,813,761	預り金	91,124
貯蔵品	4,901,159	前受金	73,776
その他流動資産	△ 372,585	その他流動負債	0
		繰延収益	122,340,979
		長期前受金	457,283,700
		長期前受金収益化累計額	334,942,721
		負債合計	203,951,904
		資本の部	
		資本金	1,213,863,600
		自己資本金	1,213,863,600
		剰余金	355,763,657
		資本剰余金	23,807,410
		利益剰余金	331,956,247
		資本合計	1,569,627,257
資産合計	1,773,579,161	負債・資本合計	1,773,579,161

《損益計算書》

損益計算書は一事業年度における企業の営業成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るために要した費用を記載し、純損益を表示した報告書です。

(単位:円)

収入の部		支出の部	
営業収益	243,265,250	営業費用	254,451,177
給水収益	231,189,335	原水及び浄水費	109,860,531
受託工事収益	431,518	配水及び給水費	37,459,242
その他の営業収益	11,644,397	受託工事費	423,638
営業外収益	45,432,639	総係費	39,296,634
受取利息	46,200	減価償却費	66,065,371
他会計補助金	40,643,626	資産減耗費	1,335,289
長期前受金戻入	4,433,684	その他営業費	10,472
雑収益	309,129	営業外費用	1,768,205
特別利益	199,198	支払利息	1,357,205
固定資産売却益	0	雑支出	411,000
過年度損益修正益	3,199	特別損失	31,140
賞与引当金戻入	195,999	固定資産売却損	0
		過年度損益修正損	31,140
		支出合計	256,250,522
		当年度純利益	32,646,565
収入合計	288,897,087	合計	288,897,087